

SHATE-TAMA



FOR ADULT ONLY

R-18

——女性クルーから
男とデートさえしたくない
ことを驚かれたシャツテは……

「あんなみえないな
エロ目的みえみえの
オッサンは
お呼びじゃないの!」

プライベートビーチで
デートに誘ってくる男を
待っていた——

「もうっ…アサヒのバカが
誘ってくればこんな
事しなくても……」

「ねーねー」





チャらしい奴等ね…
まあさっきのエロオヤジよりは
マシかじら…それに…

こいつ等と一緒にゴハン
食べれば男とデートした…って
ことになるわよね

いざとなったら
こんな奴等振り払える
自信もあるし……

「君、ここ初めて？
俺達この辺地元だからさ
連れがいないなら飯
一緒に食わない？」
「変な誘いとかじゃ
ないからマジで♪
女の子一人じゃこの辺
危ないからさっ♪
悪い男も多いし」

「いいわよ
付き合っ
てあげる」



……
ひっ…んっ…!!

○「へえー
シヤツテちゃんって
ロボット工学の天才って
言われてるんだ♪
頭いいんだねっ」

「でもさあ…
勉強だけじゃなくて
世間のことも
知った方がいいって」

「じゃないと俺達みたくないな
悪い男に引つかかっちゃやうよ」
「こんなエロ水着きてたんだ
…こうなることを期待
してたんだろ？なあ？」

「ひびっ！…ふ…ふぎけるなっ！
あ…あんだ達っ！よくも
あたしの初めてを…ぐっ！
必ず後悔させてやるわっ！」
「ったく…具合は良いのに
口だけは減らねえ女だな…」

「男にやられる為にあるような
ドスケベボディ見せつけりや
こうなるのは当たり前なんだよっ！！」

「ひびっひびっ！！
う…うう…あ…
アサヒ…んう！！」

「アサヒって誰？
もしかしてシャッテちゃんの
彼女かなあ？……
妬けるね…それじゃあ……」

カキカキ
カキカキ
カキカキ

「彼氏君のこともブツ飛んじやう
お薬あげまちゆからね〜♪」

「ブスっ……！」

「な…何…こへ…ひつ!!
ああああああああ!!」

「手えつ!腕っ!!
は…外じ!!うひつ♡
んぎいいいっつ!!」

「足だけ自由にしてやるよ…
…ブツ!なんだよ?
カエルみてえ♪」

「バァ」

「バァ」

「アソコってどこお?
わかんないな〜♪」
「ひいいん♡
ヴアギナあー腫う!!
まんこお!まんこよおお!!」
「うるせー!アホみてえに
野太い声出してよお
これが本当に天才なのか…」

「よっ」と

「♦♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡イグイグうら♡♡♡」

「バハハ」今の声
聞いたか?オラ!
もつと鳴いてみる!
バシンっ!バシンっ!
「ごえっ♡んぎいっ♡
おほおほ♡♡
おおおん♡」
「プシヤ♡プシヤア♡
プシヤ♡プシヤア♡
「おいおい、壊すなよ
この薬で頭おかしく
なった女も結構いる
って話だぜ」



「ヒューー」
「あーあ…
無茶するから…」

「えへっ♡えへへ♡」
「ねえ♡♡しちようち♡い♡」
「壊れちゃったじゃねーか…」
「まあいいか…チンポ狂いでも…」
「…依頼違反じゃねえだろ…」

「さっきまで処女で偉そうなこと
言ってたのによお、このクソビッチが
ホラ、腕も解いてやるから
ねだってみせろよ♪」



「いれささああ♡♡」

「勝手に最低な奴等…
薬を打ってこんなにしたのは
アンタ達なのに…でも…
今は…そんな事より…」

「チンポ欲しいのよお!!」
「いれてええ!!ビッチマン!!」
「アンタ達のテカチンポおあ!!」

「そこまで言われたら
なっ♡」

「おおおお♡♡ぎだあ♡
いぐっ…ひあっ?
んごっ♡突がれる度
…ひおおおお♡♡」

「ぐっ♡出し入れ
する度、頭悪くなる
ぐらいキモチいいだろ♡」
「いいいつ♡一突きで
10一つ下がるうう♡
頭バガになるうう♡」

「うぐっ♪やべえ…射精るっ!!」
「んぷうらん♥♥」
「おい、生はダメって
言われてんだろ?」

「このピッチ…
マンコの使い方が
上手くなってやがる
さすが天才だねえ♪」
「う…えへへ♥
生で射精…ダメなのは
あんごあい♥んへへ♥
薬とザーメンもって
ちよーらしい♥♥」

えへへ♥
ちんぽみ♥

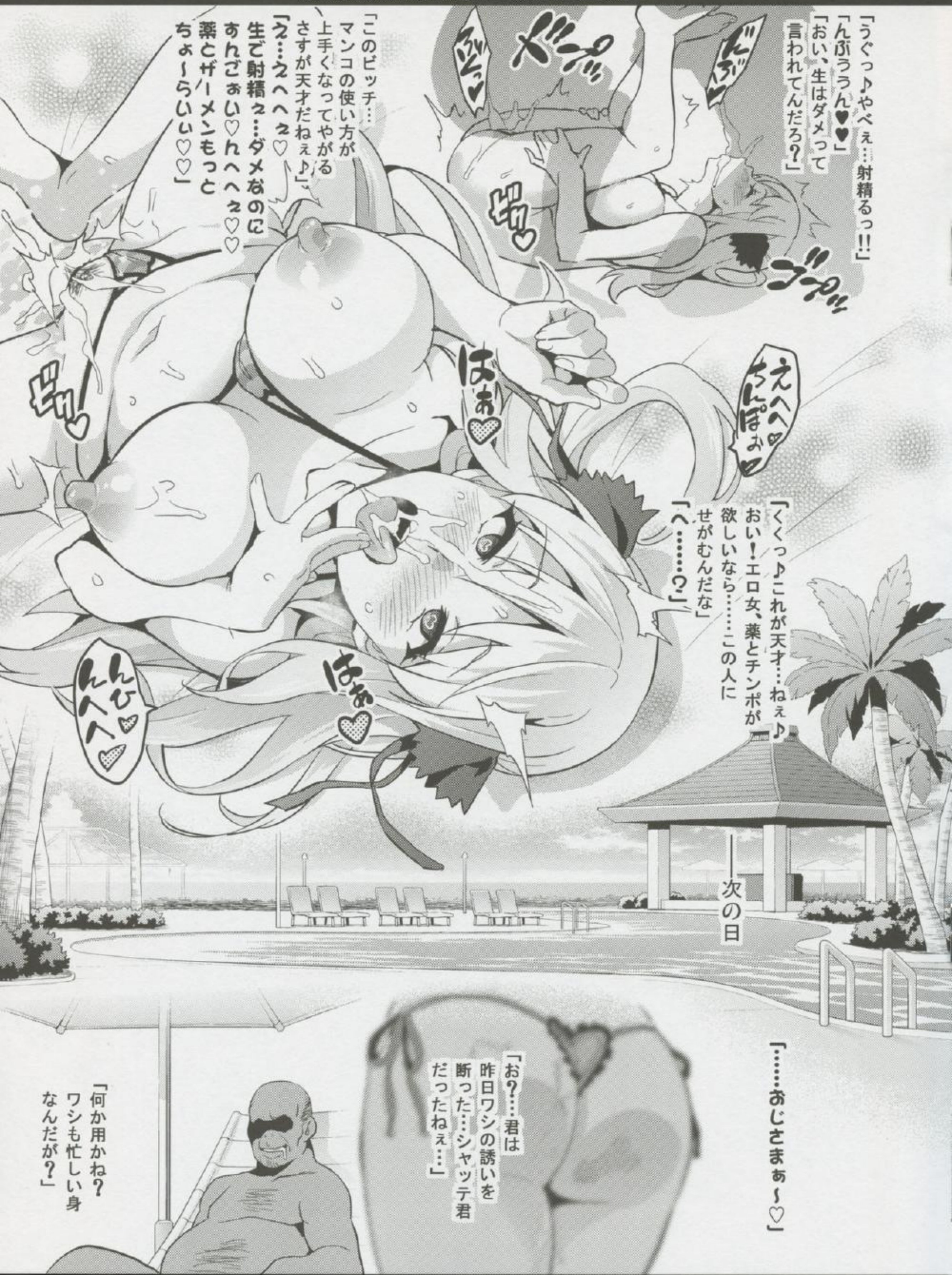
「くっ♪これが天才…ねえ♪
おい!エロ女、薬とチンポが
欲しいなら…この人に
せがむんだな」
「……………」

— 次の日

「……おじさまあ〜♥」

「お?…君は
昨日ワシの誘いを
断った…シャッテ君
だったねえ…」

「何か用かね?
ワシも忙しい身
なんだが?」



「そんな、つれないこと
言わないでよお♡」

「おじ様が昨日あたしに
しようとしてたスケベなこと
シャッテのエロボディで
なんでもするから♡
んへっ♡えへっ♡」
レロレロ♡♡♡

「お薬ちよいだーい♡♡」

レロレロ♡♡♡

Fuck Me

レロレロ♡♡♡

「あの薬を使ったのかい？
それにしてもスゴい変わりようだねえ♡」

……よく言うわね…
あの男達けしかけて薬
使わせたのはアンタだって
言うじゃない！この水着だって…
変態エロオヤジ…！！
……それにしても……
「チンポでかい♡」

「シャッテちゃんのおっぱいもねえ♡
薬は今持ってないがね…アレを
使えばワシの体液を摂取しただけで
同じ効果が得られるんだよ♪」
嘘…そんなことが……

レロレロ♡♡♡

レロレロ♡♡♡

レロレロ♡♡♡

レロレロ♡♡♡

レロレロ♡♡♡

「~~~~~♥♥♥」

「どうだ？頭からマンコに快感が駆け巡る…うおっ♥
……ゲッフ♥」

「んぼっ♥んぶううん♥」
「二舐めでワシのチンポの膚か♪
こりやあ元々淫乱の素質があつたかもしれんなあ♥」

いゅほ♥

いゅほ♥

んぼっ♥

すっごい♥舐めるだけで薬打たれた直後のアクメできちやううん♥

おぼおぼお

ああ♥マジで頭の中トッフ♥とぶうううう◇@☆♥♪
大事なモノが全部抜けて頭の中チンポチンポチンポお♥
「うう！射精すぞ!!」
うひあ♥ザーメンなんて飲んだらああ♥♥♥

「おぼおおおんう♥♥♥♥♥」

「あ……♡ああ……♡」

「ふう……♡ワシは媚薬専門の

製薬会社の頭でなあ……打った薬は

まあホレ薬みたいなもんだ」

「あつ……んつう♡♡」

「お前の体も良かったぞ……

素性も調べあげたてな……

このままソレスタル何たら

には帰らずワシの嫁になって

子供をたくさん産むんだぞ♡」

あ♡



「な……何言ってるの……
…確かにエロい事
するのはOKしたけど……」

「いくらキモチ良いから
って……アンタみたいな
オッサンのお嫁さんに
なんて……」

「なるよなっつ!!」
ズボッ!!
「ひいひいぎいん♡♡」

「ゲフフ♪ガマン汁でさえ
この効果だ……もしザーメンを
子宮で受けてアクメしたら……
どうなるかわかるなあ?」
「わかるっ!わかるわよっ!!
Hがスゴいだけの
猿顔変態オヤジに……
逆らえなくなる……のにっ!
「ひびっ♡ふっ♡
ぬひいひい♡♡」
昨日よりもスゴいアクメえ♡
パコパコされる度に
きちゃうのおお♡♡

「ぐうう!出るぞお!!」
ああ♡それでも耐えるのよっ!
ザーメンアクメなんてしたら
きつと今まで積み重ねてきた
知識やプライドや……
好きだったアイツの事まで
全部……とんじやう!
耐えて!あたしのオマン♡お!!



耐え……

ぐんぐんぐんぐん

あーっ

「ハアハア♥
…無理して耐えると
脳に相当な負荷が
かかるぞ……
まさか廃人になっては
おらんたろうな？」



「あ…♥うっ…♥
当然よお…
こじよくらひ…れえ…
…はあはあ♥
…だからあ……♥」

あははは

「はやく次っ♥次のチンポ汁っ♥
このビッチマン」にぶち込みなさいよお♥
「ゲフフ♪じゃあシャッテはワシの
便器嫁になるってことだな？」
「ああんっ！もうっ!!なるわよっ！
便器嫁でも専用オナホにでも何でもお♥
こめんね…みんな…こんな幸せを
与えてくれる男…愛さないなんて
できないのお…♥みんな…あたしの事は
忘れ…あれ？みんな…って誰だっけ？
…思い…出せない??」



「いい子だよこのまま半月は
ここで子作りするからなあ♥
今日から寝かさんぞお♥その後
すぐに婚姻届けを出すぞシャッテえ♪
まあ…いいが…あたしには猿顔だけど
トスケベでデカチンポの旦那が
いるんだしっ♥
「んふっ♥んふふっ♥
そつちこそ先に根をあげないでよね♥
ト変態の旦那さまっ♥」

ぐんぐんぐんぐん

REC 半月後



「よく言うわ♪昨日先に気絶した癖になぁ♥」
「あ…アシはアナタがザーメンに加えてオシツコまで飲ますから！イキ過ぎて死ぬかと思っただから…とにがく浮気出来ないように今日もザーメン搾りとるわよお♡んっ♡」

「んぼっ♡はぶらっ♡」
「んぐっ…♡待てシャッテ今、録画の用意が…」
「そんな事よりあたしこのラブラブペロチューでハメる方がタイジでしょーんっ♡んへえ♡」

「浮気か…本当アサヒ君の事が好きだったんじゃないのか？」
「アサ…ヒ？…誰ぞれ？」
「フフ…これからソレスタルピーニングにこの映像を送ってやろうと思ったが…快楽で記憶障害が起きておるなもうワシのチンポのこと以外は頭にないか」
「何いってるかわかんないけど…今はアナタとドスケベする以外興味ないわよ♡んっ♡」

「クク♪ワシもお前がここまでエロくなると思わなかったぞ天才の名に恥じないテクを身につけおってホレ…こ褒美だ…」

「んんん♡へろちゅう♡
涎でイグウ♡んんん♡
んっ♡もっ♡とドスケベになるから覚悟しなさいよ♪旦那さま♡」

□奥付□

- 発行日 2014.12.30
- 誌名 シャタタマ練習帳
- 著者 武田弘光
- 発行 真珠貝
- 印刷 株式会社 緑陽社
- Email pearl_shell@wing.ocn.ne.jp
- HPURL <http://pearlshell.blog56.fc2.com/>